



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 加地テック

コード番号 6391 URL <http://www.kajitech.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中澤 敬

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 上田 成樹

TEL 072-361-0881

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,809	4.1	200	—	205	—	134	—
27年3月期第2四半期	1,739	△27.5	3	93.2	8	50.8	5	301.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	8.09	—
27年3月期第2四半期	0.31	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年3月期第2四半期	7,798		5,457		70.0
27年3月期	7,509		5,356		71.3

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 5,457百万円 27年3月期 5,356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	2.00	2.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	20.9	360	269.2	360	218.4	230	595.4	13.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	17,180,000 株	27年3月期	17,180,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	617,022 株	27年3月期	616,370 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	16,563,201 株	27年3月期2Q	16,565,040 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期財務諸表等	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における日本経済は、原油安に伴うコスト減少を背景とした企業業績の改善、良好な雇用情勢を反映した賃金の持ち直しといった好材料はありますが、それが設備投資や個人消費を押し上げるには至っていない状況となっています。

企業収益についてみると、2015年4～6月期の法人企業統計の経常利益(季節調整値)が、四半期ベースで過去最高を更新するなど、好調が続いています。円安が輸出企業の売上高を押し上げているほか、資源価格の下落によってコストが減少していること等が好調の要因となっています。

企業収益が好調にもかかわらず、設備投資については力強さに欠けるものとなっています。「設備投資/キャッシュフロー比率」をみても低下傾向が続いており、企業経営の慎重姿勢の持続が確認できます。加えて、足許では中国経済の減速を受けて株式市場などで不確実性が高まり、これが先行き設備投資を下押しするリスクをはらんでいるため、依然として設備投資に対する不透明感はぬぐえない状況です。

また、輸出については弱含みとなっています。とりわけ、中国経済の減速が世界貿易の停滞を通じて、わが国の輸出を一段と下押ししています。

このような状況下、当第2四半期累計期間における受注は、燃料電池車(F C V)用の水素ステーション向け超高压水素圧縮機を中心に精力的に活動した結果、前年同期比49.8%増の3,676百万円となりました。

一方、当第2四半期累計期間における業績は、現在の受注環境は好転しつつあるものの、前年度までの厳しい受注環境の影響により、売上高は昨年と同様に伸び悩み、また一部案件が下期にズレ込んだこともあり、前年同期比4.1%増の1,809百万円となりました。売上総利益は採算の厳しい案件の減少により、前年同期比50.4%増の620百万円となりました。販売費及び一般管理費が前年同期比10百万円増加したものの、前述の売上総利益の増加を受け、営業利益200百万円(前年同期比197百万円増加)、経常利益205百万円(前年同期比197百万円増加)、四半期純利益134百万円(前年同期比128百万円増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期会計期間の総資産は、7,798百万円で前事業年度に比べ289百万円増加しました。この主な要因は、売掛金の減少617百万円があったものの、仕掛品の増加650百万円及び現金及び預金の増加232百万円があったことによります。

当第2四半期会計期間の負債は、2,341百万円で前事業年度に比べ188百万円増加しました。この主な要因は、支払手形の増加169百万円があったことによります。

当第2四半期会計期間の純資産は、5,457百万円で前事業年度に比べ101百万円増加しました。この主な要因は、剰余金の配当33百万円があったものの、四半期純利益の計上134百万円があったことなどにより、利益剰余金が100百万円増加したことによります。

以上の結果、自己資本比率は70.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は879百万円で、前事業年度末に比べ1,817百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は365百万円であります(前年同期は264百万円の増加)。この増加は主に、たな卸資産の増加額698百万円があったものの、売上債権の減少額700百万円及び仕入債務の増加額285百万円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は2,150百万円であります(前年同期は101百万円の減少)。この減少は主に、預け金の預入による支出2,100百万円があったことによります。当該支出は、短期預け金が預け先の変更に伴う預入期間の変更により資金の範囲から外れたことによるものであり、結果として現金同等物の減少となりましたが、貸借対照表における短期預け金の残高及び実質資金に大幅な変動はありません。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は33百万円であります(前年同期は35百万円の減少)。この減少は主に、配当金の支払額32百万円によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績見通しにつきましては、平成27年10月21日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました業績予想から変更はありません。業績予想を見直す必要が生じた場合は適時に開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表等

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	647,125	879,185
受取手形	473,674	363,125
売掛金	1,399,301	781,646
製品	14,382	14,557
仕掛品	892,804	1,542,998
原材料及び貯蔵品	195,536	243,429
預け金	2,550,000	2,600,000
その他	143,950	173,595
貸倒引当金	△15,100	△9,180
流動資産合計	6,301,677	6,589,358
固定資産		
有形固定資産	808,809	809,898
無形固定資産	104,661	115,359
投資その他の資産		
その他	295,656	284,872
貸倒引当金	△1,750	△550
投資その他の資産合計	293,906	284,322
固定資産合計	1,207,378	1,209,580
資産合計	7,509,055	7,798,938
負債の部		
流動負債		
支払手形	523,654	693,226
買掛金	152,685	286,778
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	40,830	82,068
前受金	38,225	10,674
賞与引当金	128,081	127,853
受注損失引当金	88,600	67,900
その他	223,371	122,376
流動負債合計	1,395,448	1,590,877
固定負債		
退職給付引当金	668,940	652,672
役員退職慰労引当金	78,127	87,727
その他	10,000	10,000
固定負債合計	757,068	750,400
負債合計	2,152,516	2,341,277

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,440,000	1,440,000
資本剰余金	1,203,008	1,203,008
利益剰余金	2,811,151	2,912,090
自己株式	△105,136	△105,412
株主資本合計	5,349,023	5,449,687
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,515	8,165
繰延ヘッジ損益	-	△191
評価・換算差額等合計	7,515	7,974
純資産合計	5,356,539	5,457,661
負債純資産合計	7,509,055	7,798,938

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,739,304	1,809,767
売上原価	1,326,977	1,189,592
売上総利益	412,327	620,174
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	108,327	126,213
賞与引当金繰入額	30,833	33,628
役員退職慰労引当金繰入額	7,755	9,600
貸倒引当金繰入額	△6,700	△5,920
その他	268,779	255,757
販売費及び一般管理費合計	408,994	419,278
営業利益	3,332	200,896
営業外収益		
受取利息	4,887	3,538
その他	1,917	2,332
営業外収益合計	6,805	5,870
営業外費用		
支払利息	1,153	753
固定資産除却損	197	214
その他	79	63
営業外費用合計	1,431	1,031
経常利益	8,707	205,735
税引前四半期純利益	8,707	205,735
法人税等	3,600	71,668
四半期純利益	5,107	134,066

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	8,707	205,735
減価償却費	58,407	51,753
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,864	△16,267
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,755	9,600
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,700	△7,120
賞与引当金の増減額(△は減少)	△411	△228
受注損失引当金の増減額(△は減少)	101,000	△20,700
受取利息及び受取配当金	△5,240	△3,940
支払利息	1,153	753
固定資産除却損	48	36
固定資産売却損益(△は益)	△27	-
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△201
売上債権の増減額(△は増加)	551,902	700,654
たな卸資産の増減額(△は増加)	△490,522	△698,261
その他の流動資産の増減額(△は増加)	11,268	△33,183
仕入債務の増減額(△は減少)	57,982	285,899
その他	△38,749	△84,358
小計	267,438	390,171
利息及び配当金の受取額	5,047	7,283
利息の支払額	△1,138	△746
法人税等の支払額	△6,848	△30,712
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,499	365,995
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△59,525	△23,775
有形固定資産の売却による収入	249	432
無形固定資産の取得による支出	△42,565	△36,228
投資有価証券の売却による収入	-	1,569
預け金の預入による支出	-	△2,100,000
その他の支出	258	-
その他の収入	-	7,277
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,582	△2,150,725
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,173	-
自己株式の取得による支出	△901	△275
配当金の支払額	△33,379	△32,934
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,454	△33,210
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	127,462	△1,817,940
現金及び現金同等物の期首残高	3,267,799	2,697,125
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,395,262	879,185

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
圧縮機事業	2,952,208	14.2

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
圧縮機事業	3,676,953	49.8	3,007,951	51.1

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
圧縮機事業	1,809,767	4.1

- (注) 1 主な輸出先、輸出版売高及び輸出版売高の総額に対する割合は次のとおりであります。
 ()内の数値は総販売実績に対する輸出版売高の割合であります。

輸出先	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
東南アジア	80,203	30.9	215,446	58.0
東アジア	121,138	46.7	94,610	25.5
中近東他	58,266	22.4	61,149	16.5
計	259,609 (14.9%)	100.0	371,206 (20.5%)	100.0

- 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。